



小手中魂

合言葉「チーム小手指」とは
情熱・授業力・社会性を持ち、生徒を
第一に考える教師集団のこと



所沢市立小手指中学校 校長 結城 尊弘 令和8年10月1日発行
【生徒数：1学年232名 2学年198名 3学年188名 8組16名 合計634名】

10月全校朝会 『輝け！小手中生 どんな体育祭・合唱祭にしたいのか』

【要旨抜粋】新人大会、地区代表決定戦が終わりました。団体11種目のうち、5種目が県大会、2種目が地区代表決定戦へ進みました。さらに、陸上部をはじめ、個人戦でも多くの選手が県大会出場を決めました。皆さんの健闘に、大きな拍手を送ります。この後、駅伝大会、県大会へと続きます。小手中生らしくはつらつとさわやかに挑んでください。（安全第一、健康第一、トラブル0）

勝負には、勝つ時もあれば負ける時もあります。「あの時、あのプレーができていれば」と悔しさを感じた人もいるでしょう。私たち小手指中は、負けても、また立ち上がる。何度でも挑戦する。七転び八起き精神です。経験を力に変えて、昨日の自分を超えてください。抜粋【ワークショップ「体育祭・合唱祭を一言でいうと、何ですか」隣同士でイメージを共有しました。】

体育祭も合唱祭も、感じ方は一人一人違うということです。でも、一つだけ共通していることがあります。それは、一人ではつukれないということです。一人一人の力や声が重なって、初めて、みんなでつくるものになります。

さて、2学期は、一年の中でも、皆さんが最も輝く時だと思っています。保護者の方々や地域の方々も見ています。そして、皆さんの姿から、「小手中生は頑張っているな」「成長しているな」「中学生って素晴らしい」と、希望や安心を感じてくださるのではないのでしょうか。ここで、皆さんに一つ、問いを残します。「自分たちは、どんな小手中生の姿を見せたいのか。」そして、「どんな体育祭、どんな合唱祭にしたいのか。」皆さんには、先生方の願いもしっかりと受け止めてほしいと思います。その願いを自分たちの思いと重ね、どうすればよりよいものをつくれるのかを、一緒に考えていきましょう。一人一人の思いが重なれば、皆さんの心に残る体育祭、合唱祭となり、生涯の思い出として刻まれるはずです。主役は皆さんです。80年の節目、これまで大切にしてきた「小手中魂」そして、「チーム小手指」。やり切ったことがすべて永遠の財産になります。

地区代表決定戦出場



女子バレー部



野球部（手前）

新たに着任された先生方の紹介 ～どうぞよろしく申し上げます～

1-6担任榎本良史子教諭の産育休に伴い、1-6新担任に伊藤千瑛教諭を配置し、1年4-7組及び8組の国語の授業を9月1日より着任した学力向上支援講師山本哲也講師が担当致します。

また、SSR（スペシャルサポートルーム）を担当する小川正人サポーターが健康上の理由により退職となりました。10月1日より、校内教育支援サポーターとして、小橋川和子サポーターが着任されることとなります。引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

学力向上支援講師 やまもと てつや 山本 哲也 先生

経歴：中学校教員・教頭を歴任

ロンドン日本人学校勤務経験あり

挨拶：これまでの自身の実践や経験を生かして、「生きて働く国語の力」と「確実に生きる知識と技能の習得」を目指し、全力を傾注してまいります。

校内教育支援サポーター SSR 担当

こはしかわ かずこ 小橋川 和子 先生

経歴：元都立高校校長 元大学非常勤講師

挨拶：中・高・大学での指導及びカウンセラーの経験があります。気軽になんでも相談してください。私はあなたの応援団です。焦らずゆっくり進みましょう。